

(限 内 部)

第一海軍航空廠廠報

第二四號

昭和十八年十一月一日 月曜日

● 通 牒

昭和十八年十月十二日

横須賀鎮守府自動車

操縦術技術檢定委員長

横須賀鎮守府自動車操縦術技術檢定規定竝ニ
 横一海團機密第一一號ノ三ニ依リ實施セル
 本府一般軍人軍屬ニ對スル技術檢定合格者左
 ノ如シ (合格證付與昭和十八年十月一日附)

合格證種別	所 轄	等 級	氏 名
普 通	一 空 廠	二 等 工 具	石 井 松 男
同	同	同	鈴 木 三 郎
同	同	同	笠 原 寅 之 助
同	同	同	佐 川 竹

● 辭 令

青島方面特別根據地隊附兼第一
 海軍施設部部員海軍軍醫大尉 船 津 重 夫

補第一海軍航空廠醫務部部員

(十月二十日海軍省)

海軍技術中尉	沼 倉 忠 男
同	中 谷 謙
海軍技術少尉	古 屋 野 糺
廠内限兼總務部勤務ヲ命ズ	
主トシテ兼務部ニ於テ勤務スベシ	
海軍技術少尉	大 島 一 磨 呂
同	伊 藤 哲 二
同	中 村 時 之
兼總務部勤務ヲ免ズ	
(十一月一日第一海軍航空廠)	

● 命 免

組長ヲ免ズ
 一等整備員 多 田 晴 三

(十月三日發動機部長)

第一海軍航空廠廠報 第二四號 昭和十八年十一月一日

五六七

2396

一等銅工員 山口 謙造
一等熔接員 笹目 四郎
伍長ヲ免シ組長ヲ命ズ
(十月二十一日飛行機部長)

各頭書ノ舍監ヲ免ズ
第四工員寄宿舍々々 監海軍技術中尉 沼倉 忠男
第三工員寄宿舍々々 監海軍技術中尉 中谷 謙
同 海軍技術少尉 古屋野 紘

各頭書ノ舍監ヲ命ズ
第三工員寄宿舍々々 監海軍技術少尉 大島 一磨呂
第四工員寄宿舍々々 監海軍技術少尉 伊藤 哲二
第三工員寄宿舍々々 監海軍技術少尉 中村 時之

(以上十一月一日第一海軍航空廠長)
海軍技術中尉 沼倉 忠男
同 中谷 謙
海軍技術少尉 古屋野 紘
内務士官ヲ命ズ

海軍技術少尉 大島 一磨呂
同 伊藤 哲二
同 中村 時之
内務士官ヲ免ズ
(十一月一日總務部長)

第六工員寄宿舍々々監ヲ命ズ
海軍技術中尉 藤田 耕平
(十一月一日第一海軍航空廠長)

一等記録員 清水 基飛(飛)
二等記録員 村山 賢治(同)
第六工員寄宿舍寮長ヲ命ズ
(以上十一月一日第一海軍航空廠長)

● 雜 欸

◎ 變 更
十月二十二日一空廠第一〇二四號健民修鍊實
施ノ件、四、役員中左ノ通變更ス
海軍技術少尉 大島一磨呂 海軍技術中尉 沼倉忠男
同 伊藤哲二ヲ 同 中谷 謙
同 中村時之 海軍技術少尉 古屋野 紘

(限 内 部)

第一海軍航空廠廠報

第二一五號

昭和十八年十一月五日

金曜日

● 令 達

一空廠達第四三號

昭和十八年一空廠達第四二號第一海軍航空廠御寫真奉安警衛内規、附、一、(三)ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

昭和十八年十一月一日

第一海軍航空廠長

松

笠

潔

(四) 自轉車乗車ノ者ハ停止降車シ敬禮ヲ行フ

第一海軍航空廠廠報

第二一五號

昭和十八年十一月五日

五六九

2398

(限 内 部)

第一海軍航空廠廠報

第二一五號

昭和十八年十一月五日 金曜日

● 通 牒

空技廠第四七五六號

昭和十八年十月二十九日

海軍航空技術廠

海軍航空本部
海軍艦政本部
各海軍航空工廠
各海軍航空工廠
關係各廠
御中

工費定額ノ件通知

五月一日空技廠第一八五一號通知工費定額
(支廠ノ分) 左記ノ通變更シ十月整理ノ分ヨ
リ實施ス

記

工費定額	内	譯
一三〇〇	服業工費	附隨工費
一五四〇		七六〇

● 辭 令

死亡解雇(戰病死)

守 衛 小 野 晴

(九月三十日第一海軍航空廠)

理 事 生 酒 井 譽

依願解雇

(十月三十日第一海軍航空廠)

海 軍 少 佐 平 出 貞 夫

任海軍中佐

海 軍 主 計 大 尉 松 村 常 吉

任海軍主計少佐

海 軍 軍 醫 中 尉 高 橋 敬 尙

任海軍軍醫大尉

海 軍 主 計 中 尉 山 村 俊 雄

任海軍主計大尉

第一海軍航空廠廠報

第二一五號

昭和十八年十一月五日

五七〇

2399

海軍飛行兵長 佐々木外佐 阿部 武夫 任海軍二等飛行兵曹 海軍二等衛生兵曹 船山 守 任海軍一等衛生兵曹 (以上十一月一日横須賀鎮守府) 海軍二等衛生兵 峰野 林 海軍衛生兵長ヲ命ズ (十一月一日第一海軍航空廠)	● 命 免 一等製圖員 藤井 豊 役長ヲ免ズ (十月二十一日總務部長) 二等運搬員 水島 中治 同 江添 虎男 伍長ヲ命ズ (十月二十一日飛行機部長)	一等木工員 仲内 義雄 役長ヲ免ズ (十一月一日總務部長) 第六工員寄宿舎 寮長 記録工手 關口 二郎(總) 頭書ノ寮長ヲ免ズ (十一月一日第一海軍航空廠長)	● 訂 正 十月二十九日附廠報號外懲戒解備者調中籠谷 信次ヲ削ル ● 引 入 及 轉 地 療 養 海軍少佐村井一十郎十月二十七日ヨリ引續キ 二十一日間引入届出 業務囑託小野節男疾病ニヨリ十月二十七日ヨリ二十一日間水戸市五軒町一二五五番地ニ轉 地療養許可	● 雜 欸 (十一月一日第一海軍航空廠長)
--	--	--	--	--------------------------

第一海軍航空廠廠報 第二二五號 昭和十八年十一月五日

五七二

第一海軍航空廠報附錄

昭和十八年十月中犯罪則者處分一覽表

昭和十八年十一月七日 日曜日

計	養	醫	會	兵	發	飛	補	總	所 犯		
									部	名	名
三					一			二	罪	亡	逃
四						三	一		罪	盜	窃
一				一					盜	罪	亡
二						二			出	持	品
一						一			用	濫	品
一						一			煙	喫	外
											所
											定
三				一	一	七	一	二			計

第一海軍航空廠廠報

第二一六號

昭和十八年十二月七日

日曜日

● 通 牒

一空廠第一〇五七號

昭和十八年十一月四日

總務部長

各部(所)長殿

青寫真燒付制限ニ關スル件申進

最近青寫真燒付件數竝ニ燒付枚數著シク増加セルタメ本年度感光用紙及感光材料ノ割當量モ在庫極度ニ逼迫シ之ガ補充困難ナル狀態ニ有之候條參考書、諸編制表、統計表、目錄等ノ如キ謄寫版刷、其ノ他ノ方法ヲ以テ代用シ得ルモノハ極力青寫真燒付ヲ避ケ又絕對ニ青寫真ヲ必要トスルモノト雖モ原圖ノ内容ヲ檢討シ圖面ノ縮少、燒付枚數ノ限度引下ゲヲナシ積極的ニ資材ノ節約竝ニ活用ニ協力相成度尙感光用紙ノ節約及燒付能率ノ向上ノタメ原

圖ノ寸度ヲ日本標準規格ニ適合セシメラレ度

● 辭 令

海軍少佐 彼谷 秀次郎(一空廠)
郡山海軍航空隊假稱設立準備委員ヲ命ズ
(十月二十八日横須賀鎮守府)

● 雜 欸

◎ 訂 正
當廠十一月行事豫定表中「二十二日午前ノ第四十九回一般採用工員入廠」ヲ「二十一日午前一」ニ訂正

◎ 獻 金

同	海軍省	同	同	同	同	同
十一	三	十一	同	同	同	同
回	回	回	回	回	回	回
國	國	國	國	國	國	國
防	防	防	防	防	防	防
費	費	費	費	費	費	費
使	使	使	使	使	使	使
途	途	途	途	途	途	途
獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻
納	納	納	納	納	納	納
額	額	額	額	額	額	額
先	先	先	先	先	先	先
納	納	納	納	納	納	納
者	者	者	者	者	者	者
總務部警務係	總務部警務係	總務部警務係	總務部警務係	總務部警務係	總務部警務係	總務部警務係
二等準備員	二等準備員	二等準備員	二等準備員	二等準備員	二等準備員	二等準備員
一條善衛	一條善衛	一條善衛	一條善衛	一條善衛	一條善衛	一條善衛
補給部第三補給工場	補給部第三補給工場	補給部第三補給工場	補給部第三補給工場	補給部第三補給工場	補給部第三補給工場	補給部第三補給工場
二等準備員	二等準備員	二等準備員	二等準備員	二等準備員	二等準備員	二等準備員
黒田三郎	黒田三郎	黒田三郎	黒田三郎	黒田三郎	黒田三郎	黒田三郎

第一海軍航空廠廠報 第二一六號 昭和十八年十二月七日

五八〇

2403

(限 内 部)

第一海軍航空廠廠報

第二一八號

昭和十八年十一月九日 火曜日

令 達

一空廠人第二一九號
昭和十八年官房人第二〇〇二號ニ依ル下士官
及兵長ノ増俸ニ關スル取扱要領左ノ通定ム
昭和十八年十一月九日

第一海軍航空廠長 松 笠 潔

第一條、所屬各部(所)長ハ五月一日又ハ十
一月一日在籍ノ部下下士官及兵長ニ付増俸
有資格者ヲ調査銓衡ノ上別紙様式第一及第
二ニ依リ増俸拔擢名簿ヲ調製シ夫々五月十
日、十一月十日迄ニ廠長ニ具申スベシ
第二條 増俸有資格者ニシテ増俸拔擢名簿ニ
登載後増俸期日以前ニ於テ他ヨリ轉入セル
者アルトキハ所屬各部(所)長ハ様式第一
及第二ニ依リ直ニ具申スベシ
第三條 所屬各部(所)長ハ増俸有資格者ニ

シテ轉勤旅行中又ハ行方不明等及其ノ他已
ムヲ得ザル事由ニ因リ所定ノ増俸期日ニ増
俸セラレザリシ者アルトキハ第二條ニ準ジ
直ニ具申スベシ

第四條 所屬各部(所)長ハ増俸資格ヲ有ス
ル者ニシテ傷疾疾病ニ依リ危篤ニ陥リタル
トキハ直ニ具申スベシ

第五條 下士官及兵長ニシテ増俸停年ヲ有ス
ルモ刑罰ニ處セラレ又ハ勤務成績不良ト認
メラレル者ハ増俸ヲ延期ス、所屬各部(所)
長ハ本條該當者アルトキハ別紙様式第三
(下士官(兵)増俸候補名簿不登載者調)
ヲ第一條ニ依リ具申書ニ添へ提出スベシ
(別紙添)

命 免

記録工長 千葉 繁治

第一海軍航空廠廠報

第二一八號

昭和十八年十一月九日

五八五

<p>兼作業係第三班長ヲ命ズ 準備工長 須貝 末松</p> <p>兼作業係第二班長ヲ命ズ 記録工手 菊地 操</p> <p>作業係第三班長ヲ免シ作業係第四班長ヲ命ズ (以上十月二十一日補給部長)</p> <p>組立職手 堀川 義信</p> <p>組長ヲ命ズ (十月二十八日飛行機部長)</p> <p>一等鍍工員 須藤 松三郎</p> <p>伍長ヲ免シ組長ヲ命ズ 同 五味淵 瑞枝 同 久保田 竹雄 伍長ヲ命ズ (十月三十一日飛行機部長)</p> <p>組立工手 加藤 武人</p> <p>兼解體班長ヲ免ズ</p>	<p>組長ヲ命ズ</p> <p>一等木工員 仲内 義雄</p> <p>一等仕上員 井上 晴雄</p> <p>同 小松 惣七</p> <p>一等銅工員 根岸 豊作</p> <p>同 林 喜久雄</p> <p>伍長ヲ免シ組長ヲ命ズ (十一月一日飛行機部長)</p> <p>海軍技術中尉 中谷 謙</p> <p>内務士官ヲ免ズ 海軍技術中尉 草尾 章</p> <p>内務士官ヲ命ズ (以上十一月一日發動機部長)</p> <p>海軍技術少尉 大出 一磨呂</p> <p>第二工場係官ヲ免シ第一工場係官ヲ命ズ 海軍技術少尉 内田 文男</p> <p>兼第二工場係官ヲ免シ兼第一工場係官ヲ命ズ (以上十一月一日發動機部長)</p>
--	--

2406

二等記録員 北村 八十八(補)
二等電氣員 長峰 茂雄(發)

第六工員寄宿舍副寮長ヲ命ズ
(以上十一月五日第一海軍航空廠長)

海軍技術中尉 藤田 耕平

兼作業係係官ヲ命ズ

(十一月五日飛行機部長)

2407

様式第一

番

年 號

月

日

所

屬

部

長

航空廠長殿
下士官増俸長殿
等 拔擢名簿
兵曹 級俸ニ増俸スベキ者(現役)

調製官所見	2	1	決定順序
		昭和7年5.1	現官任命年月日
		昭和7年12.1	現級俸給與年月日
		母看護 0-14	其除算事項及數停年
		1 4-0	増俸年
		昭和4年5.1	下士官初任年月日
		高 10 150 砲	特技章及卒業成績順位
		〓〓〓	現官中ノ罰
		何	善行章氏
		某	名
	横志水 1852	入籍番號	

備考

- 一、本名簿ハ現役、服役延期及應召並ニ各官階及級俸ニ分チ各別紙ニ調製ノコト
- 二、欄内ハ記註例ヲ示ス

2408

様式第二

番

年 號

月

日

航空廠長殿
兵増俸抜擢名簿

所

屬

部

長

水兵長特別俸ニ増俸スベキ者(現役)

調製官所見			順決 序定
			年兵 月長 日進 日級
			共除 ノ算 日事 數項 及
			停増 年俸
			業特 成績技 績章及 順位卒
			刑現 職職 罰罰 中中
			善善 行行 章章
			氏 名
		番入 號籍	

備考

様式第一ニ同ジ

2409

年 月 日 調

部 名

下士官（兵）増俸拔擢名簿不登載者調（現役）

事	山	現官（職） 任命年月日	現給俸 給與年月日	特技章 官（職）	現級俸	氏名	入籍番號
勤務ノ成績不良 （六、三）威信失墜禁足十日	七十五一	七二二一	七二二一	高砲	三	何 某	佐志水 二二七六
父看護十五日	七二二一	七二二一	丙操	一飛曹	二	何 某	横志飛 七七一

備考

- 一、本調書ハ現役、服役延期及應召並ニ下士官兵ニ分チ各別紙調製ス
- 二、本調書ニハ増俸拔擢名簿調製期日ニ於テ増俸停年ニ達スベキ經過日數アルモ
刑罰其ノ他除算事項等ノ爲増俸無資格トナリタル者ヲ記載ス

2410

279
270
3

2411

第一海軍航空廠廠報

第三三一號

昭和十八年十一月二十八日

日曜日

命 免

徵用員(奏) 來本 利男
電氣工場係員兼印刷工場係員ヲ免シ電氣工場
係官兼印刷工場係官ヲ命ズ

(十一月二十日總務部長)

役長ヲ命ズ

一等記録員 菅澤 忠次郎

一等記録員 高澤 勇

役長ヲ免ズ

(十一月二十二日工員養成所長)

賞 詞

總務部印刷工場

二等寫真員 高安 隆次

右者昭和十七年四月四日第六回新規徵用工員
トシテ入廠以來夜々勤シテ業務ニ精勵中ナリ

第一海軍航空廠廠報 第三三一號 昭和十八年十一月二十八日

六三〇

シガ去ル十月二十六日二時間殘業後荒川沖驛
一八四六發下リ列車ニ乗車石岡町ヘノ歸途ニ
就ケリ
然ルニ同列車ハ土浦驛構内櫻川鐵橋附近ニ於
テ三重衝突ヲナシ剩ヘ内二輛ガ河中ニ顛落セ
ル爲多數ノ死傷者ヲ出セル大椿事ヲ惹起セリ
當時本人ハ同列車第四輛目ニ乗車中ナリシガ
該車輛顛落ト同時ニ河中ニ投出サレ一時失神
狀態ニ陥リタリシモ頭上ニ落下シ來レル人體
ノ衝擊ニ依リ意識ヲ取り戻シ該列車ニ當廠工
員ノ多數乗車シ居ルニ氣付クキ勇ヲ鼓シテ對
岸ニ泳ギ着キ土浦驛ニ馳セ致リテ電話ニテ本
椿事ヲ當廠當直職員ニ急報セリ茲ニ於テ當廠
ハ爾後ノ救難作業及各方面トノ通信ヲ迅速容
易ナラシムルコトヲ得タリ
右ノ行爲ハ椿事ニ臨ミテ沈着機敏誠ニ機宜ヲ

得タルモノヲモシテ決戦下海軍工員精神ヲ遺憾
ナク發揮セルモノト謂フベク衆人ノ模範トシ
テ推賞スルニ足ルモノト認ム
仍テ茲ニ之ヲ賞詞ス

昭和十八年十一月二十八日

第一海軍航空廠總務部長

海軍大佐 從五位 勳三等 篠田 忠敬

● 雜 欸

◎ 當廠ニ於テ左ノ激勵文接受セリ

決戦下軍需生産ニ挺身敢闘セラルル貴廠各位
ニ對シ深甚ナル謝意ヲ表ス 戦局日ニ苛烈悽
愴ヲ極ムルノ秋鐵火ノ一丸トナリ皇軍ノ戰果
ニ應ヘ愈々生産増強ニ一層ノ奮勵努力ヲ望ム
右應徵者ニ對シ御傳達ヲ乞フ

昭和十八年十一月二十六日

茨城縣知事

◎ 獻 金

獻納先	獻納額	使途	獻納者
海軍省	一圓	國防費	總務部動力工場一等機關員宮本浩
同	三圓	同	動力工場一同
同	五圓	同	補給部工務係二等準備員阿内直三
同	五十錢銀貨二枚 外國貨幣四枚	同	飛行機部第二工場 仕上工手富田東
同	五圓	同	發動機部第一工場 一等機工具久保田敬重
同	十圓	同	會計部給與係 二等記數員古澤昭一

第一海軍航空廠廠報

第三三二號

昭和十八年十一月二十九日

月曜日

● 令 達

一空廠第一一二六號

左記ニ依リ「火の用心の月」ヲ實施ス

昭和十八年十一月二十九日

第一海軍航空廠長 松 笠 潔

一、目 的

決戦下生産増強ノ先行最大條件ハ現有諸施設ノ安全確保ニアルヲ以テ火災事故ノ絶對防止ヲ圖リ以テ常廠ノ重大使命完遂ヲ期スルニア

二、期 間

自 十二月一日(水)
至 十二月三十一日(金)

三、強調實施事項

(一) 決戦下火災ニ依ル物的損耗ガ如何ニ恐
ルベキ戦力低下ヲ招來スルモノナルカヲ

徹底セシメ火災事故ノ絶對防止ノ念ヲ滲透セシム

(二) 動力用、點灯用引込線(特ニ假設電線)瓦斯管、電熱器、電氣湯沸器、火鉢、煙突、喫煙關係具共ノ他可燃物ノ一齊檢査及取扱法ノ再檢討

(三) 防火要具ノ再檢討消火栓防火水槽、防火砂等ノ一齊檢査並ニ修正

(四) 防火隊編成ノ再檢討ト演練

(五) 守衛、消防員、警戒當直員ノ警戒職務ノ徹底

(六) 其ノ他従業員ニ對スル火氣取扱ニ關スル注意示達事項ノ徹底

四、實施要領

(一) 各部(所)長若クハ部長指定ノ高等官ハ適宜訓示講話ヲ行ヒ本行事ノ徹底ヲ計

(限 内 部)

第一海軍航空廠廠報 第三三二號 昭和十八年十一月二十九日

ルモノトス

(三) 總務部長ハ適宜標語或ハホスタ一ヲ選
定揭示シ本行事ノ効果徹底ヲ期スルモノ
トス

五、各部(所)長ハ本行事終了後成ルベク速
ニ實施經過ノ概要成果並ニ所見ヲ提出スベ
シ

横須賀鎮守府日令第六八五號

昭和十八年十一月二十六日

横須賀鎮守府司令長官 豊田 副武

一、海軍勤勞顯功表彰第二回地方表彰者(個
人表彰)ヲ左ノ通定ム(一空廠ノミ拔萃)

第一海軍航空廠

工 長 熊野利太郎

同 青柳竹次郎

同 小川 昇

同 小出政五郎

二、海軍勤勞顯功表彰者第二回表彰式ハ左ニ

依リ之ヲ行フ

(イ) 神奈川縣下所在各廳

昭和十八年十二月八日一〇〇〇

於鎮守府大會議室

(ロ) 其ノ他ノ各廳 廳長所定

三、神奈川縣下所在各廳長ハ當日被表彰者ヲ

〇九〇〇迄ニ式場ニ派遣スベシ

四、表彰式ニハ勤務ニ差支ナキ廳長、關係官

及表彰審査委員會委員同委員附參列スベシ

五、服 裝

軍 人 軍裝(短劍)略綬佩用

文 官 從軍服又ハ通常服(略綬佩用但シ

通常服着用者ハ丸型略綬トス)

其ノ他 制服又ハ背廣服

◎ 辭 令

海軍兵曹長 關 根 保

第一海軍航空廠附ヲ命ズ

第一海軍航空廠附 海軍兵曹長 名古 一二
横須賀鎮守府附ヲ命ズ

(十一月二十五日横須賀鎮守府)

第一海軍航空廠飛行機
部部員海軍技術大尉 栗山 秀彌

第一海軍航空廠發動機
部部員海軍技術少尉 川見 克己

同 藤野 正男

補海軍航空本部出仕

(十一月二十日海軍省)

● 著 退 任

海軍技術少尉 川見 克己

同 藤野 正男

十一月二十四日退應

海軍技術大尉 栗山 秀彌

十一月二十五日退應

(限 内 部)

第一海軍航空廠廠報

第二三三號

昭和十八年十一月三十日

火曜日

◎ 令 達

一空廠第一一三四號

昭和十八年度後期新任職長教育實施方案左ノ
通定ム

昭和十八年十一月三十日

第一海軍航空廠長 松 笠 潔

昭和十八年度後期新任職長教
育實施方案

一、目 的

新任職長ニ對シ重大責務ヲ自覺セシメテ決
戰型ニ「頭ノ切換ヘ」ヲ行ハシムル一方職
務完遂上必要ナル知識技能ヲ授ケ以テ増産
ノ陣頭指揮者タル資質ヲ附與スルニアリ

二、期間及場所

自十二月一日 一四三〇開始
至十二月九日 一六二〇終了

飛行機部教育班講堂

三、指導官及補佐官

主任指導官 發動機部長
指導官 主任指導官ノ協議ニ
應ジ各部長指定スル
モノ

主任指導官補佐官 光川 技術少尉

四、受講者

別表第一ノ通り

(イ) 昭和十八年六月以降新ニ組役長ニ任命
セラレタルモノ

(ロ) 右ノ他各部長ノ特ニ指定スルモノ

五、教育實施豫定表
別表第二ノ通り

期 間 時 間 場 所

第一海軍航空廠廠報 第二三三號 昭和十八年十一月三十日

六三五

2417

六、報告

主任指導官ハ教育終了後速ニ實施經過概要
並ニ所見ヲ提出スルモノトス

七、雜件

- (イ) 各部ヨリ教場間ノ往復ハ各部受講者ノ
先任者之ヲ引率スルモノトス
- (ロ) 受講者ノ服裝ハ止ムヲ得ザル場合ノ外
作業服トス
- (ハ) 受講者ハ教育終了後速ニ所感ヲ主任指
導官ニ提出スルモノトス